



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場会社名 京福電気鉄道株式会社

上場取引所 大

コード番号 9049 URL <http://www.keifuku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西田 寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部部長

(氏名) 長尾 拓昭

TEL 075-841-9385

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,822	△1.0	190	△12.4	172	△12.3	132	△11.1
23年3月期第1四半期	2,850	△2.2	216	△9.8	196	△6.3	149	△21.2

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 145百万円 (22.7%) 23年3月期第1四半期 118百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	6.68	—
23年3月期第1四半期	7.51	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	16,052	3,946	21.1
23年3月期	15,990	3,845	20.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 3,388百万円 23年3月期 3,297百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,900	0.6	360	△13.9	320	△14.7	170	△32.9	8.54
通期	11,800	2.3	500	32.6	400	34.3	280	△1.3	14.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	20,000,000 株	23年3月期	20,000,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	95,012 株	23年3月期	94,924 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	19,905,047 株	23年3月期1Q	19,930,745 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。  
なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益に改善の兆しが見えつつありましたが、長引く円高や原材料価格の高止まり等により、企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。さらに平成23年3月11日に発生した東日本大震災やそれともなう原子力発電所事故により企業の生産活動は低迷し、また、電力供給不足の懸念等による国民生活の不安感や自粛ムードが高まるなど、景気の先行きは再び不透明感が増大することとなりました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、お客様に喜んでいただける商品づくりと販売力の強化による積極的な営業活動を展開するとともに、新たな体制のもと、より一層の経営の効率化に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの営業収益は2,822百万円（前年同期比28百万円、1.0%減）となり、営業利益は190百万円（前年同期比26百万円、12.4%減）となりました。これに営業外収益および営業外費用を加減した経常利益は172百万円（前年同期比24百万円、12.3%減）となり、特別利益および特別損失を加減し、さらに法人税等を控除した結果、四半期純利益は132百万円（前年同期比16百万円、11.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 運輸業

鉄軌道事業におきましては、春季繁忙期間において、東日本大震災に端を発する自粛ムードがまん延するなか、外国人観光客も大幅に減少し、京都観光に深刻な影響を与えました。

しかしながら、平成23年4月1日から全線でのICカードシステムの運用も予定通り順調に進むとともに、当社ハウスカードである「らんでんカード」の利用促進のためのPRにも積極的に取り組み、新規利用者の掘り起こしに努めました。また、「嵐電沿線パワースポット巡り」など一日フリー切符を組み込んだ商品の開発や鳥取市と連携して鳥取砂丘の砂を使用したNHK大河ドラマ「江」をイメージした「砂像」を製作し、嵐山駅前に展示するなど、嵐電沿線エリアの価値創出や情報発信に取り組み、お客様の誘致と利用促進に努めました。

バス事業におきましては、京福バス㈱では、路線バス事業でかねてより対応を進めていた福井市の地域コミュニティバス支援事業について、それぞれの地域特性に合わせた経路・ダイヤを策定するため、公共交通空白地域の住民の方々と協議を重ね、2つの地域で試行運行を開始しました。また、貸切バス事業では、既存の自社企画商品に加え、高級志向商品や創立70周年に因んだ記念ツアーなどを販売したほか、岩手県や宮城県の震災被災地への支援ボランティアバスを運行しました。

京都バス㈱は、東日本大震災の影響による春季繁忙期の京都観光客の鈍い動きに加え、軽油価格上昇ともなう燃料費等の経費増もあり、収支が低調に推移するなか、不採算路線等の効率化の実施や新規契約輸送受注のための営業強化など、増収に向けた各種施策に取り組みました。

以上の結果、運輸業の営業収益は1,902百万円と、前年同期に比べ54百万円（2.8%）の減収となり、営業利益は99百万円と、前年同期に比べ39百万円（28.1%）の減益となりました。

## ② 不動産業

不動産分譲事業におきましては、㈱京福コミュニティサービスが福井県坂井市三国町の温泉付分譲宅地「みくにグリーンヒルズ」や福井市の「開発（かいほつ）」の各分譲宅地において完売を目指し積極的な販売活動を行いました。

不動産賃貸事業におきましては、「嵐山駅はんなり・ほっこりスクエア」では、春季繁忙期に同スクエア内の各テナントと連携した集客イベントの実施や臨時売店の誘致など、集客と販売促進に取り組みました。

三国競艇場では、「外向舟券発売所」の機能を活かして、場外発売日数を大幅に増やし、増収に努めました。

なお、不動産賃貸事業強化のための滋賀県大津市の「アソルティ大津京町ビル」の取得を平成23年5月に完了いたしました。

以上の結果、不動産業の営業収益は541百万円と、前年同期に比べ23百万円（4.6%）の増収となり、営業利益は85百万円と、前年同期に比べ2百万円（2.8%）の減益となりました。

## ③ レジャー・サービス業

飲食業におきましては、平成23年3月に「JR博多シティ」内に出店した「京都ぎをん八咫（やた）」は、当初の予想を上回り好調に推移したほか、JR名古屋駅前ルーセントタワー内の「中国料理 吉珍樓」では、厳しい外食環境にも拘らず、積極的な営業に努め好成績を上げています。また、京都府八幡市「四季彩館」内の「八幡家」では、地元食材を活用したランチビュッフェ・ディナービュッフェが好評を博しました。

物販業におきましては、フラワーショップ「BOOM（ブーン）」では、母の日には「スパコ・JR伊勢丹」に臨時出店し、イベントを行うなど、JR京都駅構内への臨時出店とあわせて集客とPR活動に取り組みました。

越前松島水族館では、ペンギン達が大型水槽を泳ぎ回る「ぺんぎん館」が平成23年7月29日にオープンし、夏休みに向けて積極的なPR活動を行っています。

以上の結果、レジャー・サービス業の営業収益は531百万円と、前年同期に比べ3百万円（0.7%）の増収となり、営業利益は2百万円と、前年同期に比べ16百万円の改善となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、受取手形及び売掛金の回収による減少があった一方で、固定資産の取得による増加などにより、前連結会計年度末に比べ61百万円増加し、16,052百万円となりました。負債は、借入金の増加があった一方で、未払金の支払などにより、前連結会計年度末に比べ40百万円減少し、12,105百万円となりました。純資産は、期末配当を実施した一方で、当期純利益による利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ101百万円増加し、3,946百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

前回発表時（平成23年5月11日）の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を変更していません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,222	1,238
受取手形及び売掛金	1,048	846
販売土地及び建物	45	42
商品及び製品	27	33
仕掛品	9	4
原材料及び貯蔵品	62	57
前払費用	35	42
繰延税金資産	15	6
その他	72	102
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	2,522	2,358
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,046	8,243
機械装置及び運搬具（純額）	1,043	998
土地	2,374	2,453
建設仮勘定	93	119
その他（純額）	880	857
有形固定資産合計	12,438	12,672
無形固定資産	145	138
投資その他の資産		
投資有価証券	536	534
その他	325	320
投資その他の資産合計	861	854
固定資産合計	13,446	13,664
繰延資産		
社債発行費	21	29
繰延資産合計	21	29
資産合計	15,990	16,052

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	66	61
短期借入金	4,172	3,940
1年内償還予定の社債	287	342
未払金	765	327
未払法人税等	60	17
未払消費税等	60	65
賞与引当金	240	82
その他	558	882
流動負債合計	6,211	5,719
固定負債		
社債	1,054	1,519
長期借入金	2,792	2,788
リース債務	537	517
長期未払金	745	744
繰延税金負債	290	297
退職給付引当金	198	196
役員退職慰労引当金	111	88
その他	202	233
固定負債合計	5,933	6,386
負債合計	12,145	12,105
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	270	270
利益剰余金	1,999	2,092
自己株式	△13	△13
株主資本合計	3,256	3,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41	38
その他の包括利益累計額合計	41	38
少数株主持分	547	558
純資産合計	3,845	3,946
負債純資産合計	15,990	16,052

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業収益	2,850	2,822
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	2,608	2,598
販売費及び一般管理費	25	34
営業費合計	2,634	2,632
営業利益	216	190
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	3
負ののれん償却額	0	—
雑収入	15	8
営業外収益合計	20	11
営業外費用		
支払利息	31	25
雑支出	9	4
営業外費用合計	41	29
経常利益	196	172
特別利益		
工事負担金等受入額	0	—
補助金	10	6
特別利益合計	11	6
特別損失		
固定資産圧縮損	1	—
特別損失合計	1	—
税金等調整前四半期純利益	206	179
法人税、住民税及び事業税	16	15
法人税等調整額	21	14
法人税等合計	38	30
少数株主損益調整前四半期純利益	168	148
少数株主利益	18	15
四半期純利益	149	132



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	168	148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	△3
その他の包括利益合計	△49	△3
四半期包括利益	118	145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101	130
少数株主に係る四半期包括利益	17	15

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	運輸業	不動産業	レジャー・ サービス業	計		
営業収益						
(1) 外部顧客への営業収益	1,950	446	454	2,850	—	2,850
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	6	71	73	150	(150)	—
計	1,956	517	527	3,001	(150)	2,850
セグメント利益又は損失 (△は損失)	139	88	△14	213	3	216

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額3百万円はセグメント間取引消去額です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	運輸業	不動産業	レジャー・ サービス業	計		
営業収益						
(1) 外部顧客への営業収益	1,896	471	454	2,822	—	2,822
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	6	69	76	152	(152)	—
計	1,902	541	531	2,974	(152)	2,822
セグメント利益	99	85	2	188	1	190

(注) 1 セグメント利益の調整額1百万円はセグメント間取引消去額です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。